VeriTrans4G インターフェース詳細

～クレジットカード決済～

Ver. 1.0.18 （2026 年 10 月～）

Copyright © 2026 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

目次

第 1 章　　本ドキュメントについて 4
1-1 本ガイドの内容 4
1-2 著作権、および問い合わせ先 4
1-3 改訂履歴 4

第 2 章　　インターフェース詳細 7
2-1 共通 7
2.1.1 カード情報の非保持化について 7
2.1.2 ワンクリック継続課金サービスについて 8
2.1.3 カードの有効性確認について 8
2-2 与信 9
2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto 9
2.2.2 応答電文 ： CardAuthorizeResponseDto 13
2-3 再取引（再与信） 16
2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto 16
2.3.2 応答電文 ： CardReAuthorizeResponseDto 17
2-4 売上 17
2.4.1 要求電文 ： CardCaptureRequestDto 17
2.4.2 応答電文 ： CardCaptureResponseDto 17
2-5 キャンセル 20
2.5.1 要求電文 ： CardCancelRequestDto 20
2.5.2 応答電文 ： CardCancelResponseDto 20
2-6 付録 22
2.6.1 カードトランザクションタイプ 22

第 3 章　　その他　補足事項 24

3-1 支払種別情報の指定 24
3-2 売上に関する注意事項 25
3.2.1 物販の一部発送(売上)について 25
3.2.2 与信の有効期間について 25
3-3 キャンセル(取消・返品)に関する注意事項 26
3.3.1 与信のキャンセルについて 26
3.3.2 部分キャンセル時の注意点 26
3.3.3 部分売上後のキャンセルについて 26
3-4 部分売上、部分キャンセルご利用時のリスクについて 27
3-5 仕向け先カード会社の一覧 27
3-6 通信エラー発生時の注意点 30
3-7 不正アタック対策 30

第1章 本ドキュメントについて

1-1 本ガイドの内容

本ガイドは、株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが提供する VeriTrans4G を利用するための専用ソフトウェア MDK（Merchant Development Kit）をインターネット店舗などに導入する開発者向けのガイドです。VeriTrans4G クレジットカード決済にて使用する電文のインターフェース詳細について記載しています。

VeriTrans4G の詳細については、『VeriTrans4G 開発ガイド』を参照して下さい。尚、インターフェース詳細は、決済サービス毎に提供していますので、当該決済サービスのドキュメントを参照して下さい。

1-2 著作権、および問い合わせ先

[著作権]
本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。
Copyright © 2026 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]
株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ベリトランス テクニカルサポート
電子メール： tech-support@veritrans.jp

1-3 改訂履歴

2017/02 ：Ver1.0.0 リリース

✧ 以下、「VeriTrans3G インターフェース詳細 ～ クレジットカード決済 ～」 Ver 2.0.2 からの更新分を記載します。

「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」に「token」を追加
「2.2.2 応答電文 ： CardAuthorizeResponseDto」内の「connectedCenterId」「resReturnReferenceNumber」「resActionCode」の説明を追記
「2.3.2 応答電文 ： CardReAuthorizeResponseDto」内の「connectedCenterId」「resReturnReferenceNumber」「resActionCode」の説明を追記
「2.3.4 応答電文 ： CardCancelResponseDto」内の「connectedCenterId」「resReturnReferenceNumber」「resActionCode」の説明を追記
「2.6.1 カードトランザクションタイプ ： 与信→取り消し」の設定値誤記を修正

2017/04 ：Ver1.0.1 リリース

「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」の「token」に関する説明を修正し、「cardNumber」「cardExpire」および「securityCode」の説明に、カード情報の非保持に関する説明を追記
「3-2 クレジットカード決済 注意事項」を以下の2つの章に分けて、記載内容を刷新

「3-2 クレジットカード決済　売上に関する注意事項」
「3-3 クレジットカード決済　キャンセル（取消・返品）に関する注意事項」

2017/07 ：Ver1.0.2 リリース
章タイトルから「クレジットカード決済」という表現を削除（冗長さの排除）
「2-3 クレジットカード決済 再取引」のタイトルを「2-3 再取引（再与信）」に変更し、再取引に関する説明文の追加と、注意事項の記載内容の見直しを実施
「3-4 部分売上、部分キャンセルご利用時のリスクについて」を追加
「3-6 通信エラー発生時の注意点」を追加
2017/08 ：Ver1.0.3 リリース
「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」の cardNumber、cardExpire の説明文を修正
「2-5 キャンセル」「2.5.1 要求電文」の取引 ID に関する不要な説明文を削除
2018/09 ：Ver1.0.4 リリース
「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を更新
2019/04 ：Ver1.0.5 リリース
「2.1.1 カード情報の非保持化について」を追加
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」内の「cardNumber」「cardExpire」「securityCode」の説明を微調整
「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」内の「cardNumber」「cardExpire」「securityCode」の説明を微調整
「2.3.2 応答電文 ： CardReAuthorizeResponseDto」内の「reqCardNumber」「reqCardExpire の説明を追記
2019/07 ：Ver1.0.6 リリース
「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を更新
2020/10 ：Ver1.0.7 リリース
「3-7 不正アタック対策」を追加
2021/07 ：Ver1.0.8 リリース
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」
「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」
再取引では会員 ID を指定しないように注意文言を追加
「dddDsTransactionId」「dddServerTransactionId」を追加
「dddCavvAlgorithm」の説明に"4"と"9"を追加
「2.2.2 応答電文 ： CardAuthorizeResponseDto」
「2.3.2 応答電文 ： CardReAuthorizeResponseDto」
「2.4.2 応答電文 ： CardCaptureResponseDto」
「2.5.2 応答電文 ： CardCancelResponseDto」
「req3dDsTransactionId 」「req3dServerTransactionId 」を追加
2022/06 ：Ver1.0.9 リリース
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」
「dddDsTransactionId」「dddServerTransactionId」の様式を修正。

その他、カードオプションタイプに”mpi”を指定する際のパラメータについての説明を 3D セキュア 2.0 前提の記載に修正。
「2-3 再取引（再与信）」 の電文について、与信と同一のフィールドは表から削除し、与信の電文の参照を促す説明を記載。
「2.6.1 カードトランザクションタイプ」の備考欄に説明を追記。

2022/11 ：Ver1.0.10 リリース
「2-3 再取引（再与信）」に以下の注意事項を追記
注 3） 再取引（再与信）を行っても、元取引 ID で取得済みの与信や売上はキャンセルされませんので、金額変更を目的として再取引を行った場合には、元取引のキャンセルを行ってください。
注 4） 3D セキュア（本人認証）が成功した取引 ID を元取引 ID に指定することは可能ですが、再取引分は 3D セキュアの対象取引にはなりませんのでご注意ください。

2023/01 ：Ver1.0.11 リリース
「3-3 キャンセル（取消・返品）に関する注意事項」にキャンセル可能期間について追記
「3.3.2 部分キャンセル時の注意点」から一括払い以外はダイレクト返品出来ない旨を削除
「3-5 仕向け先カード会社の一覧」「47 株式会社ほくせん」を削除

2023/06 ：Ver1.0.12 リリース
「2.3.2 応答電文 ： CardReAuthorizeResponseDto」 reqCardNumberを追加
「3-3 キャンセル（取消・返品）に関する注意事項」 取消・返品の説明が消費者への請求明細上についてであることを追記

2024/05 ：Ver1.0.13 リリース
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」 cardholderName を追加
「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」カード有効期限設定時の説明を追加

2024/09 ：Ver1.0.14 リリース
「2-3 再取引（再与信）」 注4） に元取引に使用できる3Dセキュアの取引の説明を追加

2025/04 ：Ver1.0.15 リリース
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」 cardOptionType 「MPI 有り」の説明に mpi-none について追記、「MPI 有り」の設定を△から〇に変更
「2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto」 再取引時のカード有効期限やセキュリティコードを指定する方法を追記

2025/10 ：Ver1.0.16 リリース
「2.5.2 応答電文 ： CardCancelResponseDto」 centerRequestDate、centerResponseDate ダイレクト返品では null になる旨追記
「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を更新

2026/06 ：Ver1.0.17 リリース
「2.1.3 カードの有効性確認について」を追加
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」 amount の下限値を 1 から 0 に変更し、カード有効性確認について追記
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」 withCapture に amount を"0"にする場合の注意を追記
「2.2.1 要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto」 dddEci に"00"：認証実行不能（Master Card）を追加、"06"の説明を変更、"07"の対象カードを変更
「2.6.1 カードトランザクションタイプ」 drpad/drpae を追記
「3.4 部分売上、部分キャンセルご利用時のリスクについて」 チャージバックに関する内容を修正

2026/10 ：Ver1.0.18 リリース
「2.5.1 要求電文 ： CardCancelRequestDto」 amount の一部キャンセルの説明を追記
「3-5 仕向け先カード会社の一覧」 を更新

第2章 インターフェース詳細

本章では、各決済にて使用する電文（Dto）について説明します。以下の表に記載されているフィールドは、店舗様にて利用可能なフィールドです。

各電文（Dto）には、以下の表に記載されていないフィールドが定義されている場合がありますが、以下の表に記載されていないフィールドは店舗様では使用することはできません。

2-1 共通

■「設定」欄の内容は以下の通りです。

要求電文 … 必須項目：〇　任意項目：△　設定不可：×　その他条件付：※、※n（条件は説明欄、または欄外に記入）

応答電文 … 必ず返戻：〇　処理成功時のみ返戻：△　返戻なし：×　その他条件付：※

■orderId（取引 ID）について

店舗で任意に採番してください。申込処理毎に付ける必要があります。他の取引 ID と重複しないよう採番してください。他決済サービスとも重複できません。

また、テスト取引で使用した取引 ID を、本番取引で再度使用することはできません。

取引 ID には、半角英数字以外に“-”（ハイフン）、“_”（アンダースコア）も使用可能です。

■応答電文について

応答電文には、本書に記載されていないフィールド（パラメータ）も存在しますが、通常は、記載されているフィールド以外は加盟店様の方で意識する必要はございません。

2.1.1 カード情報の非保持化について

クレジットカード取引におけるセキュリティ対策として、加盟店様にはカード情報の非保持化（自社で保有する機器・ネットワークにおいて、カード情報を保存、処理、通過しないこと）が求められています。

非保持化に対応するためには、MDK の要求電文に、カード番号を設定して送信することはできません。そのため、VeriTrans4G の MDK 型（モジュール方式）では、トークン方式による非保持化・非通過化に対応しています。トークン方式では、カード情報は消費者の端末から直接弊社のサーバーに送信します。加盟店様のシステムでは、カード情報の代わりに弊社が発行したトークンを用いて、その後の決済要求を行っていただきますので、加盟店様のシステムをカード情報が通過することはありません。

✧　トークン方式については『MDK トークン　開発ガイド』を参照してください。

✧　加盟店様のシステムでカード情報を保持する場合（非保持化に対応しない場合）は、PCI-DSS への準拠が必要になります。

なお、カード有効期限、セキュリティコードについては、カード番号と同時に設定しなければカード情報の通過には該当しません。例えば、再取引（以前の決済で使用したカード情報で決済する機能）をご利用の際に、更新された有効期限を設定して送信することや、不正防止のために購入の都度、セキュリティコードを消費者に入力させて送信することは、カード情報の通過にはあたりません。

✧　セキュリティコードは加盟店および決済代行会社で保存はできませんので、消費者に入力していただく必要があります。

2.1.2 ワンクリック継続課金サービスについて

ワンクリック継続課金サービスを利用するためのインターフェースは、以下のドキュメントに記載されています。

『インターフェース詳細～ワンクリック継続課金サービス～』

ワンクリック継続課金サービスをご利用の際は、本書に記載の要求電文のフィールドと、ワンクリック継続課金サービス用のフィールドを設定して決済を行ってください。また、応答電文のフィールドにも、ワンクリック継続課金サービス用のフィールドが追加されますのでご注意ください。

2.1.3 カードの有効性確認について

カードの有効性確認のために少額の与信を実施することはブランドルールにより禁止になりました。カード登録などのためにカードの有効性を確認する場合は、0 円で与信を実施してください。

2-2 与信

2.2.1 要求電文　：　CardAuthorizeRequestDto

要求電文　：　CardAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	「2-1 共通」に記載の「orderId（取引 ID）について」を参照	○
amount	決済金額	半角数字 8 桁以内	0 以上 99,999,999 以下 カードの有効性確認のための与信は”0”を設定してください。	○
token	トークン	半角英数記号 36 桁	トークンサーバーが発行した、クレジットカード情報の識別に用いるトークンの値 詳細は『MDK トークン開発ガイド』を参照してください。	△
cardNumber	カード番号	半角数字 16 桁以内	（重要）カード情報の非保持（非通過、非保持）への対応のため、通常は設定しないでください。 詳しくは「2.1.1 カード情報の非保持化について」を参照してください。 数字のみ、またはハイフン含みで指定（ハイフン含みの場合は 19 桁以内で指定）	△
cardExpire	カード有効期限	半角英数字 5 桁	（重要）カード情報の非保持（非通過、非保持）への対応のため、通常は設定しないでください。 詳しくは「2.1.1 カード情報の非保持化について」を参照してください。 MM/YY （月 + ″/″ + 年）の形式 （例 ″08/18″）	△
cardOptionType	カードオプションタイプ	右記参照	MPI 有り　mpi-none で 3D セキュアを実施しその結果を使用する場合や他社本人認証サービスにより既に認証結果を取得している場合に使用 ″mpi″（本人認証結果付与）	○
			MPI 無し　【未使用】	×
jpo	支払種別	半角英数字 83 桁以内 右記参照	″10″ （一括払い） ″21″ （ボーナス一括） ″61Cxx″ （分割払い、xx に分割回数指定） “80” （リボルビング払い） ※指定が無い場合は、″10″（一括払い）が適用されます。 ※直接契約 / 包括契約でそれぞれ使用できる支払種別が異なります。詳細は「3-1 支払種別情報の指定」を参照してください。	△
withCapture	売上フラグ	右記参照	″true″： 与信・売上 ″false″： 与信のみ ※指定が無い場合は、デフォルト値の″false″が設定されます。 ※amount に”0”を設定した場合は”true”を設定しないでください。0 円の売上はできません。	△

要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明		設定
securityCode	セキュリティコード	半角数字 3 桁 or 4 桁	（重要）カード情報の非保持（非通過、非保持）への対応のため、通常は設定しないでください。 詳しくは「2.1.1 カード情報の非保持化について」を参照してください。 セキュリティコード（CVV2/CVC2）とは、カード券面に記載された 3 桁ないし 4 桁の数字です。		△
cardholderName	カード保有者名	半角英数記号 2 桁以上 45 桁以内	カード保有者名を指定します。 通常は指定する必要はありません。 当項目を指定した場合は、取引情報にカード保有者名が保存されます。保存されたカード保有者名は当該取引を MpiReAuthorizeRequestDto の元取引として指定した場合に使用されます。 カード保有者名は、決済サーバー内に保存されますが、保存されている値を取得・参照することはできないので、カード保有者を確認する用途では使用できません。		△
以下、MPI（3D セキュア）の結果を設定する場合に使用するフィールド 注）設定方法の詳細は『本人認証サービス補足資料（3D セキュア 2.0 対応版）』を参照してください。					
dddMessageVersion	3D メッセージバージョン	半角英数字記号 右記参照 10 桁以内	MPI 有り	Message Version Number （例 “2.1.0”） 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に″mpi″（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×
dddTransactionId	3D トランザクション ID	半角英数字、″+″、″/″、″=″ 28 桁	MPI 有り	Transaction Identifier(XID) 20 桁バイナリ値を Base64 にて 28 桁英数字に変換した値を指定します。 3DS Server から値を受信した場合に設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に″mpi″（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×
dddTransactionStatus	3D トランザクションステータス	半角英数字 1 桁	MPI 有り	3D セキュアトランザクションステータス ″Y″：本人認証成功 ″A″：Attempt ″″：値なし（空白） 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に″mpi″（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。※値のバリエーションは増える可能性があります	△
			MPI 無し	【未使用】	×

要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明		設定
dddCavvAlgorithm	3DCAVV アルゴリズム	半角英数字 1 桁	MPI 有り	3D セキュア CAVV アルゴリズム "9"：取引ごとの指定なし（Message Version Number が 2.X.X の場合） ""：値なし（空白） 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に"mpi"（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。 ※値のバリエーションは増える可能性があります	△
			MPI 無し	【未使用】	×
dddCavv	3DCAVV	半角英数字、"+"、"/"、"=" 28 桁	MPI 有り	3D セキュア CAVV 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に"mpi"（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×
dddEci	3DECI	半角数字 2 桁 右記参照	MPI 有り	3D セキュア　ECI "00"：認証実行不能（Master Card）　※リスクは加盟店 "01"：Attempt（Master Card） "02"：認証成功（Master Card） "05"：認証成功（VISA、JCB、AMEX、Diners） "06"：Attempt（VISA、JCB、AMEX、Diners） 情報提供のみ（Master Card）　※リスクは加盟店 "07"：認証実行不能（VISA、JCB、AMEX、Diners）※リスクは加盟店 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に"mpi"（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×
dddDsTransactionId	3DDS トランザクション ID	半角英数字記号 36 桁以内	MPI 有り	ARes/RReq における DS Transaction ID を指定します。 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に"mpi"（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×

要求電文 ： CardAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明		設定
dddServerTransactionId	3D サーバトランザクション ID	半角英数字記号 36 桁以内	MPI 有り	ARes/RReq における 3DS Server Transaction ID を指定します。 3DS Server から受信した値を設定してください。 ※本項目は、「cardOptionType（カードオプションタイプ）」に"mpi"（本人認証結果付与）を指定した場合に指定可能となります。	△
			MPI 無し	【未使用】	×

2.2.2 応答電文　：　CardAuthorizeResponseDto

応答電文　：　CardAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"： 正常終了 "failure"　： 異常終了 "pending"： 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照して下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列	処理結果を日本語で表示します。 エラーメッセージを消費者にそのまま表示することは、セキュリティ上の問題があるためお控えください。	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	文字列	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁以内	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
cardTransactiontype	カードトランザクションタイプ	文字列 6 桁以内	「2.6.1 カードトランザクションタイプ」 を参照	△
gatewayRequestDate	ゲートウェイ要求日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが要求電文を受け取った日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
gatewayResponseDate	ゲートウェイ応答日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが応答電文を返した日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
centerRequestDate	センター要求日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが要求電文を受取った日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
centerResponseDate	センター応答日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが応答電文を返した日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
pending	ペンディング	文字列 1 桁以内	“0”：なし　“1”：あり	△
loopback	ループバック	文字列 1 桁以内	“0”：なし　“1”：あり	△
connectedCenterId	接続先カード接続センター	文字列 5 桁以内	弊社⇒カード会社間の接続センター名 ‘jcn ‘、’ cafis’	△
centerRequestNumber	センター要求番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
centerReferenceNumber	ｾﾝﾀｰﾘﾌｧﾚﾝｽ番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△

応答電文　：　CardAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
reqCardNumber	要求カード番号	文字列 16 桁以内	要求電文に設定した値 上 6 桁下 2 桁のみ数字表示され、その他は ″*″(アスタリスク)に変換されます。 (例 ″411111*******11″)	△
reqCardExpire	要求カード有効期限	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値 全桁″*″(アスタリスク)に変換されます。(例 ″*****″)	△
reqCardOptionType	要求カードオプションタイプ	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAmount	要求取引金額	文字列 12 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAcquirerCode	要求仕向け先コード	文字列 2 桁以内	仕向け先コード(acquirerCode)と同一の値	△
reqJpoInformation	要求支払種別情報	文字列 83 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqWithCapture	要求同時売上	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dMessageVersion	要求 3D メッセージバージョン	文字列 10 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionId	要求 3D トランザクション ID	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionStatus	要求 3D トランザクションステータス	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dCavvAlgorithm	要求 3D CAVV アルゴリズム	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dCavv	要求 3D CAVV	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dEci	要求 3D ECI	文字列 2 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dDsTransactionId	要求 3D DS トランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dServerTransactionId	要求 3D サーバトランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqSecurityCode	要求セキュリティコード	文字列 4 桁以内	要求電文に設定した値 全桁”0”(ゼロ)に変換されます。	△
resReturnReferenceNumber	応答リターン参照番号	文字列 12 桁以内	カード会社との通信時にシステム内部で利用する番号 connectedCenterId=cafis の場合はゼロ埋めとなります。 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△
resAuthCode	応答承認番号	半角英数字スペース 7 桁以内	カード会社が発行する承認番号	△
resActionCode	アクションコード	文字列 3 桁以内	カード会社との通信時に返戻されたコード値 connectedCenterId=cafis の場合はゼロ埋めとなります。 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△

応答電文　：　CardAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
resCenterErrorCode	応答センターエラーコード	文字列 3 桁以内	カード会社における結果コード（例 ″G12″）	△
acquirerCode	仕向け先コード	文字列 2 桁以内	店舗が加盟店契約をしているカード会社のコード 最終的に決済を行うカード発行会社ではなく、決済要求電文が最初に仕向けられる加盟店管理会社です。 「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を参照	△

2-3 再取引(再与信)

過去に実行された決済の取引 ID を「元取引 ID」に指定することで、クレジットカード番号と有効期限を再度入力することなく決済(与信)が可能になります。

注1) 過去の取引履歴は、弊社システムの仕様上 400 日で削除されますので、400 日以上前の取引 ID を「元取引 ID」として指定することはできません。そのため、直近で利用された取引 ID を「元取引 ID」としてご利用下さい。

注2) ワンクリック継続課金サービスの会員管理機能をご利用になる場合は、「会員 ID」に紐付けられたカード情報で決済が可能になりますので、「元取引 ID」での再取引をご利用頂く必要はありません。
再取引では「会員 ID」の指定は行わないでください。(カードの登録状態によって、想定したカードで決済が行われない場合があり、動作が保証できません)

注3) 再取引(再与信)を行っても、元取引 ID で取得済みの与信や売上はキャンセルされませんので、金額変更を目的として再取引を行った場合には、元取引のキャンセルを行ってください。

注4) 3D セキュア(本人認証)が成功した取引 ID を元取引 ID に指定することは可能ですが、再取引分は 3D セキュアの対象取引にはなりませんのでご注意ください。元取引には検証成功(mpiMstatus が success)となった取引のみが使用できます。決済サービスオプションタイプを"mpi-none"に設定した取引は使用できません。

2.3.1 要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto

要求電文 ： CardReAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	「2-1 共通」に記載の「orderId(取引 ID)について」を参照	○
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	再取引を行う過去取引の取引 ID ※弊社サーバーに取引履歴が保管されている期間は標準で 400 日間となります。保管期間の起算日の考え方は、取引のステータスが最後に変化した日が起算日となりますので、直近の再取引に使用した取引 ID を指定することをお薦めいたします。	○
※その他のフィールドは、与信の要求電文を参照してください。				

✓ カード情報(カード番号、カード有効期限、カード保有者名)は元取引から値を引き継ぐため指定不要です。ただし、セキュリティコードは保存できないため、セキュリティコードを指定する場合は消費者に都度入力を求める必要があります。

✓ カード有効期限を指定した場合は、元取引のカード番号と指定したカード有効期限で決済が行われます。

✓ カード有効期限やセキュリティコードを指定する場合は、トークンは使用せずに、cardExpire、securityCode に直接設定してください。

2.3.2 応答電文　：　CardReAuthorizeResponseDto

応答電文　：　CardReAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
reqCardNumber	要求カード番号	文字列 16 桁以内	使用されたカード番号（通常、元取引 ID で使用されたカード番号と同一） 上 6 桁下 2 桁のみ数字表示され、その他は ″*″（アスタリスク）に変換されます。 （例 ″411111********11″）	△
※その他のフィールドは、与信の応答電文を参照してください。				

2-4 売上

2.4.1 要求電文　：　CardCaptureRequestDto

要求電文　：　CardCaptureRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	与信時に採番した取引 ID	○
amount	決済金額	半角数字 8 桁以内	与信時に設定した金額以下を指定 1 以上 99,999,999 以下	○

2.4.2 応答電文　：　CardCaptureResponseDto

応答電文　：　CardCaptureResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	″success″ ： 正常終了 ″failure″ ： 異常終了 ″pending″ ： 保留	○
vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列	処理結果を日本語で表示します。	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	文字列	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○

応答電文 ： CardCaptureResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
custTxn	取引毎に付くID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁以内	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
cardTransactiontype	カードトランザクションタイプ	文字列 6 桁以内	「2.6.1 カードトランザクションタイプ」 を参照	△
gatewayRequestDate	ゲートウェイ要求日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが要求電文を受け取った日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
gatewayResponseDate	ゲートウェイ応答日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが応答電文を返した日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
centerRequestDate	センター要求日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが要求電文を受け取った日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
centerResponseDate	センター応答日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが応答電文を返した日時（YYYYMMDDhhmmss 形式）	△
pending	ペンディング	文字列 1 桁以内	“0”:なし　“1”:あり	△
loopback	ループバック	文字列 1 桁以内	“0”:なし　“1”:あり	△
connectedCenterId	接続先カード接続センター	文字列 5 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
centerRequestNumber	センター要求番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
centerReferenceNumber	センターリファレンス番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
reqCardNumber	要求カード番号	文字列 16 桁以内	要求電文に設定した値 上 6 桁下 2 桁のみ数字表示され、その他は ″*″（アスタリスク）に変換されます。 （例 ″411111********11″）	△
reqCardExpire	要求カード有効期限	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値 全桁″*″（アスタリスク）に変換されます。（例 ″*****″）	△
reqCardOptionType	要求カードオプションタイプ	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAmount	要求取引金額	文字列 12 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAcquirerCode	要求仕向け先コード	文字列 2 桁以内	仕向け先コード acquirerCode と同一の値	△
reqJpoInformation	要求支払種別情報	文字列 83 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqWithCapture	要求同時売上	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dMessageVersion	要求 3D メッセージバージョン	文字列 10 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionId	要求 3D トランザクション ID	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionStatus	要求 3D トランザクションステータス	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dCavvAlgorithm	要求 3D CAVV アルゴリズム	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△

応答電文 ： CardCaptureResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
req3dCavv	要求 3D CAVV	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dEci	要求 3D ECI	文字列 2 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dDsTransactionId	要求 3D DS トランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dServerTransactionId	要求 3D サーバトランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqSecurityCode	要求セキュリティコード	文字列 4 桁以内	要求電文に設定した値 全桁”0”（ゼロ）に変換されます。	△
resReturnReferenceNumber	応答リターン参照番号	文字列 12 桁以内	カード会社との通信時にシステム内部で利用する番号 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△
resAuthCode	応答承認番号	半角英数字スペース 7 桁以内	カード会社が発行する承認番号	△
resActionCode	アクションコード	文字列 3 桁以内	カード会社との通信時に返戻されたコード値 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△
resCenterErrorCode	応答センターエラーコード	文字列 3 桁以内	カード会社における結果コード（例 ″G12″）	△
acquirerCode	仕向け先コード	文字列 2 桁以内	店舗が加盟店契約をしているカード会社のコード 最終的に決済を行うカード発行会社ではなく、決済要求電文が最初に仕向けられる加盟店管理会社です。 「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を参照	△

2-5 キャンセル

2.5.1 要求電文　：　CardCancelRequestDto

要求電文　：　CardCancelRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	与信時に採番した取引 ID	○
amount	決済金額	半角数字 8 桁以内	与信時に設定した金額以下、かつ 1 以上 99,999,999 以下 ※一部キャンセルも可能　返金する金額を設定してください。 ※指定なしの場合、全額取消	△

2.5.2 応答電文　：　CardCancelResponseDto

応答電文　：　CardCancelResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"　：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の処理結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照下さい。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列	処理結果を日本語で表示します。	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	文字列	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁以内	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
cardTransactiontype	カードトランザクションタイプ	文字列 6 桁以内	「2.6.1 カードトランザクションタイプ」を参照	△
gatewayRequestDate	ゲートウェイ要求日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが要求電文を受け取った日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
gatewayResponseDate	ゲートウェイ応答日時	文字列 14 桁以内	ゲートウェイが応答電文を返した日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△

応答電文 ： CardCancelResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
centerRequestDate	センター要求日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが要求電文を受け取った日時（YYYYMMDDhhmmss 形式） ※ダイレクト返品を行った場合は、カード決済センターに要求電文（オーソリ）を送信しないため”null”になります。	△
centerResponseDate	センター応答日時	文字列 14 桁以内	カード決済センターが応答電文を返した日時（YYYYMMDDhhmmss 形式 ※ダイレクト返品を行った場合は、カード決済センターに要求電文（オーソリ）を送信しないため”null”になります。	△
pending	ペンディング	文字列 1 桁以内	“0”：なし　“1”：あり	△
loopback	ループバック	文字列 1 桁以内	“0”：なし　“1”：あり	△
connectedCenterId	接続先カード接続センター	文字列 5 桁以内	弊社⇒カード会社間の接続センター名 ‘jcn‘、’cafis’	△
centerRequestNumber	センター要求番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
centerReferenceNumber	センターリファレンス番号	文字列 7 桁以内	通常、店舗様のシステムで意識する必要はございません。	△
reqCardNumber	要求カード番号	文字列 16 桁以内	要求電文に設定した値 上 6 桁下 2 桁のみ数字表示され、その他は″*″（アスタリスク）に変換されます。 （例 ″411111********11″）	△
reqCardExpire	要求カード有効期限	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値 全桁″*″（アスタリスク）に変換されます。（例 ″*****″）	△
reqCardOptionType	要求カードオプションタイプ	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAmount	要求取引金額	文字列 12 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqAcquirerCode	要求仕向け先コード	文字列 2 桁以内	仕向け先コード acquirerCode と同一の値	△
reqJpoInformation	要求支払種別情報	文字列 83 桁以内	要求電文に設定した値	△
reqWithCapture	要求同時売上	文字列 5 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dMessageVersion	要求 3D メッセージバージョン	文字列 10 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionId	要求 3D トランザクション ID	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dTransactionStatus	要求 3D トランザクションステータス	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dCavvAlgorithm	要求 3D CAVV アルゴリズム	文字列 1 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dCavv	要求 3D CAVV	文字列 28 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dEci	要求 3D ECI	文字列 2 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dDsTransactionId	要求 3D DS トランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△
req3dServerTransactionId	要求 3D サーバトランザクション ID	文字列 36 桁以内	要求電文に設定した値	△

応答電文 ： CardCancelResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
reqSecurityCode	要求セキュリティコード	文字列 4 桁以内	要求電文に設定した値 全桁"0"（ゼロ）に変換されます。	△
resReturnReferenceNumber	応答リターン参照番号	文字列 12 桁以内	カード会社との通信時にシステム内部で利用する番号 connectedCenterId=cafis の場合はゼロ埋めとなります。 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△
resAuthCode	応答承認番号	半角英数字スペース 7 桁以内	カード会社が発行する承認番号	△
resActionCode	アクションコード	文字列 3 桁以内	カード会社との通信時に返戻されたコード値 connectedCenterId=cafis の場合はゼロ埋めとなります。 通常、店舗様が意識する必要はありません。	△
resCenterErrorCode	応答センターエラーコード	文字列 3 桁以内	カード会社における結果コード（例 ″G12″）	△
acquirerCode	仕向け先コード	文字列 2 桁以内	店舗が加盟店契約をしているカード会社のコード 最終的に決済を行うカード発行会社ではなく、決済要求電文が最初に仕向けられる加盟店管理会社です。 「3-5 仕向け先カード会社の一覧」を参照	△

2-6 付録

2.6.1 カードトランザクションタイプ

当該取引の処理状態を示します。

下表に通常の決済で取り得るタイプを説明します。（下表に記載されていないタイプも存在します。）

タイプ名	設定値	備考
与信	a	与信が成功したことを示す。
与信（期限切れ）	ax	与信有効期限（通常 60 日）を超えた取引を示す。
与信売上	ac	与信同時売上が成功したことを示す。
売上	pa	売上が成功したことを示す。（与信後の売上要求による）
与信→取消	va/rad/rae	部分返品を実行後の時点で、残高がある場合は rae、残高がない場合は rad となる。
与信売上→取消	vac/racd/race	部分返品を実行後の時点で、残高がある場合は race、残高がない場合は racd となる。
売上→取消	vpa/rpad/rpae	部分返品を実行後の時点で、残高がある場合は rpae、残高がない場合は rpad となる。
売上→取消→ダイレクト返品	drpad/drpae	ダイレクト返品を実行後の時点で、残高がある場合は drpae、残高がない場合は drpad となる。

（補足事項）

- ペンディング（保留）が発生した場合は、各設定値の末尾に”p”が付与されます。
- ペンディングとは、決済サーバーとカード会社間の通信に異常が発生し、取引状態が不定となったことを示します。通常は、取引が失敗したものと判断してください。

第3章 その他　補足事項

3-1 支払種別情報の指定

分割払いやリボ払いを使用される場合、弊社へ事前申請し、かつ下記の設定を行うことによりご利用頂くことが可能です。

弊社側の設定も必要となりますので、あらかじめご連絡下さい。

■弊社への事前申請

カード会社と直接契約をされている場合は、事前にカード会社との分割払いの契約をする必要があります。

■MDK の変更

与信電文での支払種別（jpo）への設定が必要となります。

■包括契約での利用制限について

弊社と包括契約（収納代行サービス）により利用される場合は、制限がありますので以下の表をご参照ください。

支払方法	セット値	セット値の意味	収納代行サービス契約でご利用可能な支払方法			
			VISA/ MASTER	JCB	AMEX	DINERS
一括	10 指定なし		○	○	○	○
分割	61Cxx	xx は回数。例：5 回払いの場合は「61C05」	○	○	○	×
リボルビング	80		○	○	×	○

► 上記お支払方法は、加盟店契約に基づいた支払方法のみ選択いただけます。

※ 一括払いのみ利用可能な加盟店様は、一括以外の支払方法を選択することができません。

※ 指定可能な分割回数は、3、5、6、10、12、15、18、20、24 回のいずれかとなります。

※ 決済データ処理サービスの場合は、加盟店様とカード会社間の契約に準じます。

► 電文中に、jpo の指定がない場合、一括として処理されます。

► 売上・取消・返品時に前取引の支払い方法を変更することはできません。

3-2 売上に関する注意事項

クレジットカード決済では、与信を実行した金額の範囲内で売上を要求することができます。

- 与信の金額を超える金額での売上は要求できません。
- 与信全額の売上、または一部金額の売上（部分売上）を要求可能です。

1回の与信に対して、売上は 1 回しか要求できません。部分売上を行った場合も同様です。

※　例えば 10,000 円の与信に対して 6,000 円で売上を実施後、さらに 4,000 円で売上を実施、のような運用はできません。

3.2.1 物販の一部発送（売上）について

クレジットカード決済において、1 件の与信に対して売上は 1 度しか実行できません。

商品の発送の都合等、物販の一部発送により売上を 2 回以上に分ける場合は、2 回目以降の売上時に再度与信を取得してください。

3.2.2 与信の有効期間について

クレジットカード決済において、取得した与信には有効期間が設定されています。与信の有効期間は、「与信日を含む 60 日間」です。

与信取得日から 59 日後の 23:59 まで当該与信は有効であり、60 日後の 00:00 以降当該与信は無効となります。

尚、与信取得時の時刻は加味されません。

・与信取得日が 2014/6/20 18:23 の場合 （与信取得日から 60 日後は 8/19）

・2014/8/18 中は与信有効

・2014/8/19 に日付が変わったら与信無効

与信の有効期間を経過し、与信有効期限切れの状態となった場合、売上処理、キャンセル処理はできません。（エラーが発生します）

ご注意ください。

3-3 キャンセル（取消・返品）に関する注意事項

クレジットカード決済では、売上を実行した金額の範囲内でキャンセルを要求することができます。

- 通常、データ保管期限の 400 日間は売上のキャンセルが実行可能です。売上から期間が空いた場合、キャンセルが拒否されることがあります。この場合は、MAP（Merchant Administration Portal）から「ダイレクト返品」を実行することによって、カード会社にマイナスの売上データを連携し、キャンセルすることが可能です。
- 売上金額を超える金額でのキャンセルは要求できません。
- 売上金額（全額）、または一部金額のキャンセル（部分キャンセル）を要求可能です。
- 消費者への請求明細上では、キャンセルのタイミングが消費者への請求タイミングよりも前の場合は取消、請求タイミングよりも後の場合は返品（返金）として扱われます。

キャンセルは、売上金額が 0 円になるまで繰り返し要求可能です。

一度キャンセルを行った取引に対して、再度売上を要求することはできませんのでご注意ください。

3.3.1 与信のキャンセルについて

与信のキャンセルも、売上のキャンセルと同様に全額または一部金額のキャンセルが可能ですが、与信のキャンセルを行った取引に対して、売上を要求することはできません。

例）

・100 円で与信取得 ⇒ 全額キャンセル ⇒ 売上を行うことはできません。

・100 円で与信取得 ⇒ 40 円を部分キャンセル ⇒ 売上を行うことはできません。

従って、与信のキャンセルは消費者の与信枠を解放する目的以外での用途はありません。

※　与信のキャンセルを行ったとしても、与信枠の解放はカード会社の運用スケジュール次第のため、必ずしも即時に与信枠が解放されるということではありません。

3.3.2 部分キャンセル時の注意点

接続するカード会社によっては、与信と異なる金額でのキャンセルが拒否される場合があります。この場合は、MAP（Merchant Administration Portal）から「ダイレクト返品」を実行することによって、カード会社にマイナスの売上データを連携し、キャンセルすることが可能です。

3.3.3 部分売上後のキャンセルについて

与信取得後に一部金額のみ売上を実施していた場合、キャンセルできるのは、売上を行った金額に対してのみとなります。

・100 円で与信取得 ⇒ 60 円を部分売上

⇒売上を実施した 60 円を上限としてキャンセルが可能です。

3-4 部分売上、部分キャンセルご利用時のリスクについて

クレジットカード決済では、原則として、与信を取った金額で売上を立て、返品時には同じ金額を返金することになっています。そのため、通常の運用では、この原則に従った運用をお願いいたします。

ただし、3-2 売上に関する注意事項、3-3 キャンセル（取消・返品）に関する注意事項でもご説明したとおり、加盟店様の利便性を考慮し、異なる金額（少ない金額）での要求が可能なインターフェース（部分売上、部分キャンセル）も用意しています。

これらのインターフェースを利用しても、多くのケースでは問題になることはございませんが、以下のようなリスクがあることを踏まえたうえでのご利用をお願いいたします。

- 部分売上の場合、与信金額と売上金額が異なるため、カード会社にて、オーソリ（与信）無し取引、第三者利用（利用覚え無し）などと判断されチャージバックに発展する場合がありますのでご留意ください。
- 仕向け先カード会社のシステム仕様によっては、部分キャンセルが必ずエラーとなる場合があります。

3-5 仕向け先カード会社の一覧

カード会社コード	社名
01	三井住友トラストクラブ(株)
02	(株)ジェーシービー
03	三菱 UFJ ニコス(株) (DC カード)
04	三井住友カード(株)
05	三菱 UFJ ニコス(株) (UFJ カード)
06	ユーシーカード(株)
07	アメリカンエキスプレスインターナショナル
08	(株)ジャックス
09	三菱 UFJ ニコス(株)(日本信販)
10	(株)オリエントコーポレーション
12	(株)アプラス
13	ライフカード (株)
14	楽天カード(株)
21	(株)クレディセゾン

カード会社コード	社名
22	ポケットカード(株)
23	三井住友カード(株) (OMC)
24	イオンフィナンシャルサービス(株)
31	トヨタファイナンス(株)
33	全日信販(株)
34	山陰信販(株)
38	東急カード(株)
40	(株)UCS
41	(株)エスコートカード
42	(協) エヌシー日商連
43	九州日本信販(株)
44	ライフカード(株) (すみしんライフ)
45	(株)ニッセンレンライフ
50	(株)ゆめカード
51	(株)オークス
52	(株)ビューカード
53	イズミヤカード(株)
56	(株)エポスカード
57	天満屋カードサービス(株)
58	(株)京王パスポートクラブ
59	(株)オーシー
60	(株)エヌシーガイドショップ
61	(株)エヌケーシー
62	JFR カード(株)
64	三井住友カード(株) (MCP)
65	三菱 UFJ ニコス(株) (MCP)

カード会社コード	社名
67	三井住友カード(株)（銀聯）
68	トヨタファイナンス(株)（銀聯）
69	(株)ジェーシービー(銀聯)
70	Pay Pay カード(株)
71	(株)USEN FinTech (ACQ)
72	(株)ジャックス (ACQ)
73	(株)日専連
74	(株)りそな銀行
75	(株)エムアイカード
76	SB ペイメントサービス(株)
77	(株)東武カードビジネス
78	(株)ニッセンレンエスコート
79	(協組)日専連札幌
83	(株)ジェーシービー(プレモ)
84	三菱 UFJ ニコス(株)(銀聯)
85	三菱 UFJ ニコス(株) (DCC)
90	(株)日専連釧路
91	(株)日専連旭川
92	(株)日専連ベネフル
93	(株)NTT ドコモ
99	ダミーテストカード会社
1A	(株)日専連ライフサービス
1B	(株)琉球銀行
2A	(株)日専連静岡
2B	(株)埼玉りそな銀行
3A	(株)日専連ファイナンス

カード会社コード	社名
3B	(株)北國銀行
4A	(株)モデル百貨
4B	au フィナンシャルサービス(株)
5A	シティックスカード(株)
5B	au フィナンシャルサービス(株) (ONUS)
6A	モデルクレジット(株)
6B	(株)静岡銀行
7A	(株)宮崎信販
7B	(株)セブンカードサービス
8A	(株)千葉銀行
8B	三井住友カード(株)(提携)
9A	(株)いよてつカードサービス

上記一覧は **2026 年 10 月現在**のものです。

3-6 通信エラー発生時の注意点

MDK と弊社サーバー間のネットワーク障害等で通信異常によるエラーが発生した場合、MDK は先頭が「M」で始まる結果コードを返します。このとき、決済要求が弊社サーバーに到達している可能性がありますので、該当の決済が成立しているか否かは、MAP(Merchant Administration Portal)の取引検索や Search コマンド(検索)を利用してご確認ください。

- ✧ 決済成立の可能性がある通信エラー関連の結果コードは次のとおりです。(2017 年 7 月現在)

  MA99、MB99、MB03、MF01、MF02、MF03、MF04、MF99

  結果コードは今後新しく追加される可能性がありますので、「M」で始まるエラーの発生を検知し、決済成否を確認して頂くことをお勧めします。
- ✧ 結果コードの詳細は、別冊の『結果コード一覧』をご参照下さい。

3-7 不正アタック対策

不正利用者がカードの有効期限やセキュリティコードを確認するために行う不正アタックを防止するため、一定時間内に同一カード番号でカード会社からの拒否応答が多発した場合、該当カードによる与信リクエストはカード会社への与信処理を実施せず、決済サーバーより以下のエラーを返戻するように弊社側で制限いたします。

結果コード （VResultCode）	処理結果 （MStatus）	エラーメッセージ
ACZZ	failure	指定されたカード番号は使用できません。

- ✧ 不正アタックと判断するための閾値（単位時間、カード会社の拒否応答エラーコード、拒否応答回数）は、弊社にて適宜調整しますので詳細は開示いたしません。
- ✧ 対象となったカードは、弊社の決済サービスにおいて一時的に利用ができなくなります。（与信確認ができなくなります。）
  - ➢ 弊社決済サービス上の制限のため、他の店舗でのカードの利用を制限するものではありません。
- ✧ 対象となったカードは、24 時間± α の時間を経過後には再度決済の要求が行えるように制限を解除いたします。
  - ➢ 具体的な時間は、弊社側で状況を見ながら調整しますので開示いたしません。
- ✧ 該当のエラーが発生し、エンドユーザー様からお問い合わせがあった際には以下の内容をご説明ください。

  複数回のカード会社拒否エラーが発生したため、一時的に該当のカードでの決済を停止させていただいております。

  1 日～2 日経過してから、再度お試しいただくか、別のカードでの決済を行ってください。